

証券コード：4547

決算補足資料

2024年3月期 通期決算

2024年5月7日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【決算短信「当期の経営成績の概況」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 連結貸借対照表の推移	P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	P 6
IV. 配当の推移	P 7
V. 主な医薬品の売上推移	P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	P 9

注記

- ・ 本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2024年5月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【決算短信「当期の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、63,348百万円（前連結会計年度比12.6%増）となりました。当社は、2023年4月に慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬「タバリス錠」を、同年12月に透析患者におけるそう痒症治療薬「コルスバ静注透析用シリンジ」をそれぞれ新発売しました。これら新製品の売上に加え、過活動膀胱治療薬「ペオーバ錠」、2022年度に新発売した顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タブネオスカプセル」並びに潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ錠」の伸長、さらにはコ・プロモーションフィーなども増加し、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は8,399百万円（前連結会計年度比1.4%増）、建設請負事業の売上高は3,022百万円（前連結会計年度比29.0%増）、物品販売事業の売上高は809百万円（前連結会計年度比30.4%増）となりました。

・利益の状況

利益面では、増収に加え、売上原価率の改善、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、増益となりました。なお、営業外収益として有価証券売却益及び有価証券評価益を、特別利益として投資有価証券売却益をそれぞれ計上しています。

・研究開発の状況

筋層非浸潤性膀胱がん治療薬CG0070（開発番号）は、技術導入元であるCGオンコロジー社（米国）が主導する国際共同第Ⅲ相臨床試験に参画し、日本国内における臨床試験が進められています。また、当社が創製した子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）は、子宮筋腫を適応症として国内第Ⅲ相臨床試験を進めています。なお、脊髄小脳変性症治療薬ロバチレリン（一般名、開発番号：KPS-0373）については、2023年7月に承認申請を一旦取り下げ、追加臨床試験の実施可能性を検討中です。

海外においては、リンザゴリクスについて、子宮筋腫を適応症とする2024年度上半期中の欧州における本剤の発売に向け、技術導出先であるセラメックス社（英国）により市場導入準備が進められています。当社が、インマジバイオファーマシューティカルズ社（中国）との間で締結した、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬ホスタマチニブ（一般名、開発番号：R788）の中国における開発権及び販売権を許諾するサブライセンス契約は、2023年12月に終結しました。また、アフアメドセラピューティクス社（中国）との間で締結した、当社創製のパーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）の中国他における開発権及び販売権を許諾するライセンス契約についても2024年5月に終結しました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	決算期 2023年 3月期	2024年3月期			2025年3月期予想		
		予想*1	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
売上高	67,493	77,500	75,579	12.0%	83,000	9.8%	41,000
医薬品事業	56,243	65,000	63,348	12.6%	70,500	11.3%	35,000
医薬品	47,077	54,500	54,237	15.2%	60,000	10.6%	29,000
ヘルスケア食品	3,461	3,600	3,545	2.4%	3,600	1.5%	1,800
技術料*2	1,053	1,900	714	△32.2%	2,100	193.9%	2,000
その他*3	4,650	5,000	4,850	4.3%	4,800	△1.0%	2,200
情報サービス事業	8,285	8,400	8,399	1.4%	8,500	1.2%	4,200
建設請負事業	2,343	3,300	3,022	29.0%	3,150	4.2%	1,300
物品販売事業	621	800	809	30.4%	850	5.0%	500
(売上高のうち輸出)	(4,584)	(5,600)	(4,510)	(△1.6%)	(6,100)	(35.2%)	(3,800)
売上原価	35,118	39,300	38,238	8.9%	42,000	9.8%	20,500
(原価率%)	(52.0)	(50.7)	(50.6)		(50.6)		(50.0)
売上総利益	32,374	38,200	37,341	15.3%	41,000	9.8%	20,500
販売費及び一般管理費	33,503	33,200	33,324	△0.5%	36,800	10.4%	19,000
研究開発費	10,391	9,400	9,474	△8.8%	12,000	26.7%	6,600
(売上高比%)	(15.4)	(12.1)	(12.5)		(14.5)		(16.1)
営業利益又は営業損失(△)	△1,129	5,000	4,017	—	4,200	4.6%	1,500
営業外収益	1,837	2,000	2,329	26.8%	1,300	△44.2%	750
受取利息及び配当金	1,402		1,319	△5.9%			
その他の収益	434		1,009	132.6%			
営業外費用	109	300	203	86.6%	100	△50.9%	50
支払利息	20		18	△9.8%			
その他の費用	89		185	108.5%			
経常利益	598	6,700	6,142	925.9%	5,400	△12.1%	2,200
特別利益	13,086	7,000	8,349	△36.2%	10,000	19.8%	5,000
特別損失	4	200	43	809.5%	—	—	—
税金等調整前当期純利益	13,680	13,500	14,449	5.6%	15,400	6.6%	7,200
法人税、住民税及び事業税	2,113	2,500	3,263	54.4%	3,850	18.0%	1,900
法人税等調整額	932	900	△104	—	150	—	50
非支配株主に帰属する 当期純利益	105	100	128	22.1%	100	△22.3%	50
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,528	10,000	11,160	6.0%	11,300	1.2%	5,200
(包括利益)	(△4,229)	(36,044)	(—)				

*1：2024年3月期第2四半期決算発表時に公表した予想数値

*2：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティの合計額

*3：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

売上高	<p>実績： 医薬品事業：12.6%増収 医薬品が増加。医薬品ではベオーバ、タブネオス、カログラ他の増加、タバリス、コルスバの市場導入、輸出売上の増加などにより全体で増収。また、ヘルスケア食品が微増、技術料売上が減少、その他の売上はコ・プロモーションフィーを主に増加。 その他の事業：8.7%増収 情報サービス事業が1.4%増収、建設請負事業が29.0%増収、物品販売事業が30.4%増収。</p> <p>予想： 医薬品事業：11.3%増収 医薬品では引き続き、新製品であるタバリス、コルスバに加え、ベオーバ、タブネオス及びカログラなどの育成を図ることにより、増収の見込み。 ヘルスケア食品は微増、技術料売上が増加の一方、その他の売上は微減の見込み。 その他の事業：2.2%増収 情報サービス事業、建設請負事業、物品販売事業の全ての事業において増収の見込み。</p>
売上原価	<p>実績：売上原価率は1.4ポイント改善 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化やコ・プロモーションフィーの増加などにより改善。加えて、その他の事業も事業構成の変化などにより改善。</p> <p>予想：売上原価率は同率 医薬品事業の売上原価率は技術料売上の計上があるものの、薬価改定の影響などによりほぼ同率を見込む。加えて、その他の事業もほぼ同率を見込む。</p>
販売費及び一般管理費	<p>実績：前期比0.5%減少 一般管理費、研究開発費において減少、販売費において増加。研究開発費の減少は主として、前期にオプシーバ社から継承した海外臨床試験費用を計上したことによる反動による。 販売費の増加は、営業活動経費、減価償却費の増加などによる。</p> <p>予想：前期比10.4%増加 販売費、一般管理費、研究開発費の全てにおいて増加の見込み。販売費の増加は、前期と同様の理由による。研究開発費は、新規導入テーマの契約一時金、創薬テーマの臨床試験開始に向けた研究費の支払いを主に増加を見込む。</p>
営業外損益	<p>実績：有価証券売却益、有価証券評価益の増加などによる。</p> <p>予想：特別なものは見込んでいない。</p>
特別損益	<p>実績：投資有価証券売却益の減少などによる。</p> <p>予想：投資有価証券売却益の計上を見込む。</p>

【その他項目（連結）】

(百万円)

項目	決算期 2023年 3月期	2024年3月期			2025年3月期予想		
		予想*	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
減価償却費	4,109	4,300	4,254	3.5%	4,900	15.2%	2,400
設備投資額	2,187	2,000	1,879	△14.1%	4,300	128.8%	2,900
主要内容	生産設備等 110 その他 2,077	生産設備等 800 その他 1,200	生産設備等 733 その他 1,145		生産設備等 2,000 その他 2,300		生産設備等 1,600 その他 1,300
期末従業員数(人)	1,795	-	1,779	△16	-	-	-

*：2024年3月期第2四半期決算発表時に公表した予想数値

Ⅱ. 連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目		決算期	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
資 産	流動資産		100,641	104,551	3,910
	現金及び預金		25,893	22,894	△2,999
	受取手形、売掛金及び契約資産		22,780	28,680	5,899
	特定金銭信託及び有価証券		27,541	24,901	△2,639
	棚卸資産		22,798	26,297	3,498
	その他の流動資産		1,627	1,778	151
	固定資産		120,558	156,377	35,818
	有形固定資産		24,579	24,861	281
	無形固定資産		1,507	1,992	485
	投資その他の資産		94,472	129,523	35,051
	投資有価証券		74,769	106,361	31,592
	長期前払費用		15,209	14,219	△989
	退職給付に係る資産		3,089	7,311	4,221
	繰延税金資産		433	608	175
	その他の投資等		988	1,040	51
	貸倒引当金		△18	△18	-
資産合計			221,200	260,929	39,729

現金及び預金	・主として、利益による増加の一方、3月末の金融機関休業日に伴う売掛金未決済による減少
受取手形、売掛金及び契約資産	・医薬品事業、その他の事業における増加、3月末の金融機関休業日に伴う売掛金未決済による増加
棚卸資産	・医薬品事業における商品及び原材料の増加、情報サービス事業における仕掛品の増加
その他の流動資産	・医薬品事業、建設請負事業における未収入金の減少
有形固定資産	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における建設仮勘定の増加
無形固定資産	・減価償却による減少の一方で、情報サービス事業におけるのれんの増加
投資有価証券	・時価評価による含み益の増加
長期前払費用	・減価償却による減少の一方で、医薬品事業における新規取得資産の計上による増加

(百万円)

項目		決算期	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
負 債	負債合計		26,385	39,793	13,407
	流動負債		14,957	17,663	2,705
	支払手形及び買掛金		4,617	4,893	275
	短期借入金		1,490	1,340	△150
	未払法人税等		408	2,380	1,972
	契約負債		1,846	1,486	△359
	その他の流動負債		6,594	7,562	967
	固定負債		11,428	22,129	10,701
	繰延税金負債		10,426	21,188	10,762
	その他の固定負債		1,001	941	△60
純 資 産	純資産合計		194,814	221,136	26,321
	株主資本		161,246	162,683	1,437
	資本金		24,356	24,356	-
	資本剰余金		24,226	24,226	△0
	利益剰余金		125,576	127,310	1,734
	自己株式		△12,912	△13,209	△296
	その他の包括利益累計額		32,653	57,344	24,690
	非支配株主持分		914	1,107	192
負債及び純資産合計			221,200	260,929	39,729

支払手形及び買掛金	・医薬品事業における減少、情報サービス事業における増加
未払法人税等	・医薬品事業における所得増に伴う増加
その他の流動負債	・医薬品事業、情報サービス事業における未払消費税の増加
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益増加に伴う増加
利益剰余金	・期中配当金支払いによる3,722百万円の減少、自己株式の消却による5,704百万円の減少、親会社株主に帰属する当期純利益による11,160百万円の増加
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加、退職給付に係る調整累計額の増加

Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期	2023年 3月期	2024年 3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー		△6,679	△1,677	5,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		6,001	8,690	2,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		△3,420	△10,006	△6,586
現金及び現金同等物に係る換算差額		△21	△3	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△4,120	△2,997	1,122
現金及び現金同等物の期首残高		53,004	48,884	△4,120
現金及び現金同等物の期末残高		48,884	45,887	△2,997

主な増減要因（前期比）

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー：増加

営業活動の結果、当連結会計年度において1,677百万円の支出となりました。法人税等の支払額の減少などの一方で、売上債権及び契約資産の増加などがありました。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー：増加

投資活動の結果得られた資金は、特定金銭信託の払戻による収入が増加したことに加え、長期前払費用の取得による支出が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2,689百万円増の8,690百万円となりました。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー：減少（支出増）

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べ6,586百万円支出増の10,006百万円となりました。

IV. 配当の推移

(円)

項目 \ 決算期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期予想
中間配当	28	40	41	45
年間配当	56	80	82	90

(%)

配当性向	20.0	35.0	33.3	35.2
------	------	------	------	------

(参考)

(百万円)

自己株式の取得	-	-	6,000	-
(取得株式数)	-	-	(1,910千株)	-
自己株式の消却	-	-	5,704	-
(消却株式数)	-	-	(2,500千株)	-

V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2023年 3月期実績	2024年3月期			2025年3月期予想		
		予想*1	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
過活動膀胱治療薬 ハオーバ	11,795	15,800	15,335	30.0%	17,500	14.1%	8,400
デスマプレシン製剤 ミニリンメルト、他*2	3,703	3,450	3,662	△1.1%	3,200	△12.6%	1,600
排尿障害改善薬 ユリーフ	2,345	2,100	2,076	△11.5%	1,400	△32.6%	700
高リン血症治療薬 ピートル	5,665	5,800	5,241	△7.5%	5,300	1.1%	2,700
透析そ痒症治療薬 コルスバ	-	500	757	-	3,600	375.1%	1,500
腎性貧血治療薬 ダルベオエチン アルファBS注JCR	4,386	4,100	4,077	△7.0%	3,600	△11.7%	1,800
腎性貧血治療薬 エボエチンアルファBS注JCR	3,055	2,300	2,336	△23.5%	1,800	△23.0%	900
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	4,061	3,800	3,806	△6.3%	3,300	△13.3%	1,700
糖尿病治療薬 マリゼブ	1,059	1,200	1,073	1.3%	1,100	2.5%	600
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,073	1,000	980	△8.6%	850	△13.3%	450
MPA*3、GPA*4治療薬 タブネオス	1,029	5,000	5,161	401.3%	7,000	35.6%	3,300
潰瘍性大腸炎治療薬 カログラ	500	1,400	1,091	118.1%	1,800	64.9%	800
慢性ITP*5治療薬 タバリス	21	700	818	-	2,500	205.5%	1,100

*1：2024年3月期第2四半期決算発表時に公表した予想数値

*2：ミニリンメルト、デスマプレシン点鼻液、デスマプレシン点鼻スプレー、デスマプレシン静注

*3：顕微鏡的多発血管炎

*4：多発血管炎性肉芽腫症

*5：特発性血小板減少性紫斑病

VI. 新薬開発状況（自社）

（2024年5月現在）

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
CG0070	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	第Ⅲ相	創製品
	子宮内膜症		第Ⅱ相	創製品
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
KSP-0243	潰瘍性大腸炎		第Ⅱ相	創製品

※ ロバチレリン（脊髄小脳変性症）：追加臨床試験の実施可能性を検討中

※ 前回公表時（2024年1月）からの変更点 なし

VII. 新薬開発状況（導出）

（2024年5月現在）

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	欧州	セラメックス(英国)	承認取得
			中国	バイオジェン(中国)	第Ⅲ相
			台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認申請中
	子宮内膜症		欧州	セラメックス(英国)	第Ⅲ相
			中国	バイオジェン(中国)	第Ⅲ相
ホスタマチニブ (fostamatinib)	慢性特発性血小板減少性 紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	韓国	JWファーマシューティカル (韓国)	承認申請中
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿 障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用	ベトナム、他	エーザイ(日本)	承認申請中

※ 前回公表時（2024年1月）からの変更点 リンザゴリクス（子宮筋腫・台湾）申請準備中 → 承認申請中

KDT-3594（中国、他）第Ⅱ相 → アファメドセラピューティクスとのライセンス契約終結（削除）